

東日本大震災10年

10th Anniversary of The Great East Japan Earthquake

あかし akashi testaments

北島敬三

KITAJIMA Keizo

コ・スンウク

KOH Seung Wook

豊島重之

TOSHIMA Shigeyuki

山城知佳子

YAMASHIRO Chikako



かつて生じたことで、歴史にとって、失われたと見なされるものは何ひとつない
——ヴァルター・ベンヤミン／『歴史の概念について』

2021.10.9 sat – 2022.1.23 sun

休館日 10/11 (月)、25 (月)、11/8 (月)、12/13 (月)、27 (月) – 31 (金)、2022.1/1 (土)、11 (火)

開館時間 9:30–17:00 (入館は16:30まで) ※11月26日(金)、27日(土)、12月18日(土)は20:00まで開館

観覧料 一般 1,500円(1,300円) 高大生 1,000円(800円) 中学生以下 無料

※()内はWebチケット料金。Webチケットはシステム利用料等別途165円が必要となります。

※心身に障がいがある方と付添者1名は無料

青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

主催 あかし testaments 展実行委員会 (青森県立美術館、青森県観光連盟)

助成 公益財団法人 花王 芸術・科学財団 公益財団法人朝日新聞文化財団

協力 青い森鉄道、JR東日本青森商業開発

後援 在日本大韓民国民団青森県地方本部 青森放送 青森テレビ 青森朝日放送 青森ケーブルテレビ エフエム青森 東奥日報社 デーリー東北新聞社

陸奥新報社 河北新報社 読売新聞青森支局 朝日新聞青森総局 毎日新聞青森支局 産経新聞社青森支局 青森県教育委員会

※マスクの着用、検温、手指消毒等、感染症の予防・防止対策にご協力ください。

あかし akashi testaments

東日本大震災から10年。甚大な被害をもたらしたあの災禍以降、被災地においては、将来の災害に備える社会基盤が次々と整えられ、被害の教訓を後世へ伝える数々の伝承施設が建設され、さらには「復興」を祝うイベントが開催されてきました。しかし、これらが達成される過程で、私たちは時に、被災地の現場からの声がかき消されてゆくのを目にするようになりました。震災という出来事は、一方で、まさにそのような「小さな声」に耳を傾けることの重要性を教えるものではなかったでしょうか。周年記念日から半年以上を経た今、「東日本大震災10年」という言葉が既にどこか時機を逸したように響くほど、刻一刻とあの出来事が遠のいていく中で、封じ込められた叫びを知る私たちが、それらを救い出すために何ができるのか。このことを考えるために、4人のアーティストを招きました。北島敬三、コ・スンウク、豊島重之、山城知佳子。これらのアーティストは、その活動の中で一貫して、時代の趨勢から取りこぼされてゆくものを見つめてきました。彼らの写真、映像、インスタレーションが、縄文時代の鼓動を伝える青森県立美術館の空間に広がる時、その作品の連鎖がともす「灯」は、「小さな声」の「証」となることでしょう。そしてその中に、私たちは一瞬目にするかもしれません。かつて生じたことを、何ひとつ失うことのないあの〈歴史〉の姿を。

(キュレーター：李静和、倉石信乃、高橋しげみ)



2



3

関連プログラム

・OPENING LIVE+TALK

2021年10月9日(土) 13:30-16:00

◎ 港大尋ライブコンサート：かつて豊島重之の作品に出演した作曲家によるパフォーマンス

◎ アーティスト+キュレーター クロストーク

参加料無料・要申し込み(申し込み方法等詳細は、当館ホームページをご確認ください)

このほか各アーティスト関連のイベント(トーク、パフォーマンス、上映会等)を予定しております。

詳細は、決まり次第当館ホームページでお知らせします。

・ナイトミュージアム

夜間延長時間：17:00-20:00 11月26日(金) / 11月27日(土) / 12月18日(土)

※諸般の事情により、展覧会の日程・内容等を変更する場合がございます。最新の情報は青森県立美術館ホームページをご確認ください。

青森県立美術館 AOMORI MUSEUM OF ART

- 1: JR新青森駅から車で約10分
- 2: 青森駅から車で約20分
- 3: 青森空港から車で約20分
- 4: 東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分〔八戸方面から〕青森自動車道青森中央I.C.から車で約10分
- 5: 青森市営バス青森駅前(6番のりば)「三内丸山遺跡行き」乗車、「県立美術館前」下車(所要時間約20分)
- 6: ルートバスねぶたん号JR新青森駅東口(3番のりば)乗車、「県立美術館前」下車(所要時間約10分)

問合せ先 あかし testaments 展実行委員会
〒038-0021 青森市安田字近野185 青森県立美術館内
tel: 017-783-3000 fax: 017-783-5244



北島敬三 KITAJIMA Keizo

(1954- / 長野県出身・東京都在住 / 写真家)

撮影した写真を独特の時間軸の中で発表し、その記述的価値や人間の視覚に与える影響を探索しながら、国内外で活躍する写真家。現在は、肖像写真のシリーズ「PORTRAITS」と被災地を含む全国各地の風景を撮影するシリーズ「UNTITLED RECORDS」を展開する。

コ・スンウク KOH Seung Wook

(1968- / 韓国済州島出身・在住 / 美術家)

韓国の現代アートシーンの最前線で活躍する美術家の一人。近年は、故郷の済州島の歴史的出来事にまつわる記憶をテーマに、死者という不可視の存在者との対話を促す抒情的かつ批評性に富んだ写真や映像作品を制作している。日本では初めての大規模な展示となる。

豊島重之 TOSHIMA Shigeyuki

(1946-2019 / 青森県八戸市出身 / 演出家)

八戸市を拠点に精神科医として勤務する傍ら、舞踊、演劇、美術など多方面で活動を展開した。数々の国際演劇祭で高い評価を得た劇団「モレキュラーシアター」を主宰。市民アートサポート「ICANOF」のキュレーターとして、14回におよぶ美術企画展を実施した。

山城知佳子 YAMASHIRO Chikako

(1976- / 沖縄県出身・在住 / 映像作家・美術家)

出身地である沖縄の歴史や環境に着想を得て、映像や写真、パフォーマンスなどの作品を発表してきた。生まれ育った地に根柢しながらも、抽象的なイメージやフィクションの要素を効果的に取り入れた、普遍的メッセージを発する映像作品は国内外で高い評価を得ている。



4

展覧会内容やWebチケット購入方法、その他最新情報など詳細は下記をご覧ください。

青森県立美術館ホームページ

www.aomori-museum.jp



表：北島敬三「UNTITLED RECORDS」より(青森県外ヶ浜町)、2011年、顔料印刷 ©KITAJIMA KEIZO

1：北島敬三「PORTRAITS」顔料印刷 ©KITAJIMA KEIZO

2：コ・スンウク《未知の肖像》ビデオ(2018) ©Koh Seung Wook

3：モレキュラーシアター公演《Legend of Ho》(2000)

photo: Toru Yoshida

4：山城知佳子《あなたの声は私の喉を通った》ビデオ(2009)

©Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba Associates